

若い交流 子どもが夢を 青少年が志を

—大洞幼稚園園長・後藤 佐智子先生



10月下旬、藍川東中学校3年生の生徒が、家庭科の授業で保育実習に当園へ来てくれました。

3歳～5歳児の中で、小さい子どもは1対1でかかわってもらい、大きい子どもはルールのある遊びをしたりして、お兄さんやお姉さんとの交流を楽しみました。

帰りには「バイバーイ」「また来てね」という声に、中学生も振り返り、「また来るよー」と。大人ではない、でも自分たちより大きい人との触れ合いの中で、寄り添って遊んでもらえる体験やちょっと刺激されて活発に遊べることで、園児達は、あんなお兄ちゃん、お姉ちゃんのようにになりたいなあと憧れを持ったことでしょう。

中学生にとっても成長過程の思春期まっただ中、幼児と触れ合って心が癒され、頼りにされ、あるいは再会を楽しみにしてくれる心に接して、子どもってかわいなあと一瞬でも思ってくれたら……。きっと岐阜市の明るい未来につながる、との思いで見送りました。□■

防犯 子ども会育成者協議会から寄付金!!

自治会連合会では、これまで私有車で実施してきた青色回転灯パトロールなどの活動を円滑、効果的に行うためにバン型軽自動車を保有することとし、11月支部長会およびまちづくり協議会臨時総会で承認いただき、同協議会補正予算で購入しました。

一方、この趣旨に賛同された「芥見東子ども会育成者協議会」(山本昭恵会長)から車両価格43万円のほぼ半額に当たる20万円の寄付を申し出いただき、ありがたく受領することとしました。

ご厚意に報いるためにも、パトロールの継続に努め、子ども達の安心・安全を求めてまいります。 —芥見東まち



づくり協議会々長・同自治会連合会々長・多田 喜代則

コミバス みわっこバスで体験しました



—芥見南公民館主事・富内 勝さん
先日、コミバス運営協議会準備会のメンバー(写真左)としてファミリーパークまで行き、三輪地区のコミバス「みわっこバス」に試乗しました。まだ遊び心で、準備会の一人という気概が薄いのでしょうか、小型ながら乗り心地が良く、昼食後でも眠くなりました。イケネェ!!今日の目的を考えて、「立ち席」で運行ルートを探ることにしました。

みわっこバス試乗の感想として、芥見東・南地区にコミバスを導入した場合の長所・短所を記します:

長所:エリアが狭いので、1周30分以内を目標に運行できる。注:三輪地区は広く、往復2時間かかる。

短所:坂道が多く、凍結が心配。悪路では低床バスの底がつかえ乗り心地が悪くなるのでは? □■



コミバス 愛称やキャラクターを募集中!

- ・入選者には素敵な賞品を進呈します。
- ・12月22日までに
- ・自治会または東公民館へ

地域の足 ジジばばや子どもの思い乗せ

—連合会理事・山田 正行

「東京に住む息子に鮭を食べさせてやりたい」という北海道の母親の願いに「その思いを届けましょう」と応えたのがクロネコヤマトの創業者といわれますが、荷物というより「思い」を届ける考え方が大好きです。

さて来年度から皆さんの足になるコミバスが走る予定です。このバスの存続は皆さんの利用度にかかっています。今必要な方も・将来必要な方も・どちらでもない方も、こうした方がいい、ああした方がいいといった率直な思いをぜひとも寄せてください。

そんな意見を出し合ってコミバスを本当に皆さんの足として機能させ、ここを老人の住みやすい町にしましょう。ジジイババアの住み良い町は子どもにも優しく、老若男女が笑顔で暮らせる町になります。

あなたの思いがバスを走らせ、この町を創ります。あなたの思いをお待ちしています。 □■

配布

大洞
4-82

東山
3-55

北山
38-372

コモン北
6-88

桜台
23-336

桜市
41-314

柏台
31-338

柏市
26-220

桐丘
23-202

桐市
6-43

紅葉
21-269

紅市
16-147

桜2P
1-26

計 239
/2492

助け合い 町内の世話にはならない!?

——桐が丘支部・石原 日出子さん

あの怖かった火事を思い出します。ある地域に住んでいた時、「町内の世話にはならない」と自治会加入を拒み、町内付き合いをしない家がありました。

木枯らし吹くある夕暮れ、その家から出火。物凄い火勢ながら隣の壁を焦がしただけで延焼は防がれましたが、消防隊退去後も心配で、町内会は徹夜で見張りました。寒さと疲れと恐怖で大変な思いをした人たちの間では、その家への非難の声が渦巻きました。

人は世話にならないつもりでも、いつ世話になるか分かりません。自治会加入は地域の理解と協調のためにも大切です。災害・災難にいつ遭うか分からない昨今、少しでもお互い理解し、助けたり助けられたり、支えあう明るい地域でありますように…。 □■



「災害と近隣助け合い」標語で特選(左)を受賞した筆者

環境美化 “自分1人くらい”が重なると…

——柏台市営支部長・藤村 美奈子さん

先日、長良川一斉清掃がありました。藍川橋南側の川沿いにゴミを拾いました。ゴミ袋を手にしつつ他の団体からも大勢参加されたので、そんなにないだろうなと考えていました。けれどもタバコの吸殻、ビン、缶、雑誌など袋の中にどんどん溜まっていきました。

その中でも車を止められる場所は特にひどかったです。コンビニ弁当の食べ空が袋ごと捨ててあったり、ゴミ箱から電池までありました。いらないからそこに捨てていく、それを誰が片付けるのでしょうか？捨てることは簡単かもしれませんが、汚れたものを拾う身は厭なものです。



愛犬の後始末も忘れずに 一大洞1丁目で

“自分1人くらい”でなく、一人ひとりが気をつけることで町はきれいになります。まず身の周りから考えていきたいものです。 □■

金婚 ♪傍にいてくれるだけでいい♪

——桐が丘支部・西村 猛さん

秋晴れの10月末、金婚祝い式が高齢者福祉大会の中で催され、23組が多くの皆様から祝福を受けて、

♪ 私たち夫婦もその仲間入りを果たしました。

5年前から脳腫瘍を患いながら、今日こうして元気に出席できたことは無上の喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。また一堂にすてきなご夫婦が出会えてとても楽しい一日を過ごすことができました。

若かったあの頃と比べると歳相応の衰えは隠せませんが、これからも静閑な緑の町・芥見東をこよなく愛しながら、次の目標「ダイヤモンド婚」を目指して歩いていきたいと思っています。“傍にいてくれるだけでいい”(フランク永井)を歌いながら！ □■

大人だけでなく子どもも高めよう防犯意識

——柏台市営支部の方より

11月初旬の夕刻、緑山1丁目で下校中の女子児童に白いワンボックス・カーが近づき、男の運転者がエアガンらしきものを発射する事案が生まれました。

児童らは「バン!」という花火のような音を聞いただけで、怪我や物損などの被害はありませんでした。すぐに交番に通報し、巡回の強化をお願いしました。

この時期、日が暮れるのも早くなりました。県外では児童が自宅前で殺害される痛ましい事件も発生しています。これからはもっともっとわれわれ住民の(大人だけでなく子どもたちも)防犯意識を高めていかなければなりません、そんな世相も悲しいですね。 □■

子ども 東児童センターのおもちゃ病院って？

ボランティア・グループ“こぐま”では、毎月第2水曜日の午後1時半から東児童センターでおもちゃの病院を開いています。3名のドクターが診療してくれます。

即日修理できるものはその場で、入院が必要なものは翌月の巡回日まで、メーカー修理を要するものは対応方法などを適切にアドバイスしてくれます(無料ですが、部品代などは実費を負担します)。

動かなくなったキティちゃん人形、トーマスのSL、金属や木製のおもちゃまで何でも修理してくれます。北山の増田さん(写真中央)もこの日はドクターに変身し頑張っています。



飽食の時代に物を大切にする心も育まれます。子育て中のご家庭で利用されてはいかがですか？おもちゃドクターの協力者も求めています。お問合せは東児童センター(241-2723)または増田さん(241-2000)まで。